

exterior life magazine

Muterior Life

Express

SUMMER 2013 | vol. 25

ミューテリア ライフ・エクスプレス

M LIFE
MUTERIOR

はぐくむ庭

ハッピーナ / スマール特集

親子で集い、愛犬と遊ぶお庭 3例

M. グローリアの上質空間

ガーデンリビングで家族だんらん



子どもたちの笑い声が聞こえる 庭先のオープンテラス

カーポートの設置を機に、庭先もリフォームしたT様邸。
5人のお子さんたちが思いっきり遊べるお庭が完成。
道路からの目隠しや低いステップなど
安心・安全もしっかりと考えられています。



スマーレのテラスからゆるやかなステップを下りると芝生の庭へ。お子さんたちがごろげまわって遊んだり、ステップに腰掛けたり。



お庭の周囲はフェンスで囲まれ、お子さんたちが道路に飛び出す心配もなくのびのびと遊べます。室内～テラス～芝生～土の庭と、1歳の坊やも自由にあちこち探検中。



アプローチの脇にテラスの入口があるので、家に上がらなくても外から直接テラスに出入りできます。



スマーレにひとめ惚れして お庭のリフォームを決意

築5年のT様邸は、2組の双子ちゃんを含む5人のお子さんに恵まれた大家族。お庭は「泥んこ遊びにいいかな」と手つかずでしたが、そろそろ何かしたいと考えていました。そんな折り、雨の日の保育園への送り迎えが大変なので、屋根付きカーポートを設置することになり、ひまわりライフ様にプランを依頼。「そのとき、ゆくゆくは庭もリフォームしたいって話したんです。ウッドデッキをつけるぐらいしか考えてなかったんですが」とご主人。

すると、「こういうカッコイイのがありますよ」と提案されたのがスマーレのテラス。パースを見てひとめで気に入りました。庭とも自然につながるし、夏はプールもできる。それにナチュラルな木調が、庭の緑や土とも調和すると思ったんです。本物の木と違ってメンテナンス不要で長く使えるのもいいですね」

テラスにテーブルを出して、楽しいおやつタイム。「日除けをおろすと日射しがやわらかくなって、通り抜ける風も涼しく、居心地がいいんです」



門まわりの光のラインが印象的な夜の風景。スマーレの腰壁に映し出された樹影も美しい。「帰ってきたとき、ああきれいだなと嬉しくなりますね」



昼とは違うしっとりと落ち着いた表情の夜のテラス。床や地面に埋め込まれたLED照明が、足元の安全とムードの演出を兼ねて。

カーポートやテラスの柱、門まわりの縦格子や飾り縁など、すべて同じチョコメイブルの木調で統一。建物の雰囲気やレンガ調のステップともびったり調和して、ナチュラルモダンな外観に。



梁をのびしたカーポートの柱の位置と、テラスの出入り口を、綿密に計算してバランスよく納めました。柱がじゃまにならず、動線もスムーズです。

日を浴びて、土に親しんで
いっぱい外遊びして育ってほしい
そんな理想の庭になりました

「腰壁があると狭く感じるかなと思ったら、明るくて広々していてびっくり。空間が区切られて落ち着くし、道路からも目隠しになるので、居心地がいいですね」と奥様もご満足。テラスにはアプローチから出入りできるステップをつけたので、近所さんが立ち寄りたり、子どもたちが一緒にジュース飲んだり、そんな交流の場にもなっているとか。

奥様の育児休業が明け、仕事に子育てに充実した毎日を送るご夫妻。「9kgの洗濯機2回分をたっぷり干せるし、雨が降ってもあわてなくてすむので、本当に助かっています」



道路からの視線も入らず
屋根つきで洗濯物干しにも

完成したお庭は、お子さんたちの歓声でいつもにぎやかです。室内・テラス・芝生を行ったり来たり、土の庭で鉄棒したり。虫を探して、水を流して、泥をこねて、笑って、泣いて。そしておやつタイムはスマーレの屋根の下に全員集合。



やさしくてしっかり者の小学生のお姉ちゃん、ワンパク盛りの5歳の双子のお兄ちゃん、好奇心旺盛な1歳の双子の坊や。笑顔いっぱいのT様ファミリーです。



腰壁が道路からの視線をほどよくさえぎり、落ち着ける空間に。広くて屋根もあるので、大量の洗濯物も安心して干せるし、雨が降っても遊べるのでお子さんたちもここが大好き。



Before



小さなお子さんでも安全&スムーズに行き来できるように、高さや動線を配慮

設計の
POINT

室内の床から1段下げてスマーレのテラスへ、そこから芝生の庭へと、室内～庭までお子さんが自然に行き来できるようにステップの高さを工夫。カーポートからのぼした柱と、テラスの入り口の位置取りが難しく、柱がじゃまにならず動線がスムーズになるように調整しました。



スマーレ/CM+WH色

株式会社ひまわりライフ
代表取締役 浦崎正勝様
営業部 宮木 文様



すぐ脇がお隣の玄関なので、境界に縦格子を立ててさりげなく目隠ししました。

リビングのカーテンを開けられるようになって、うなぎの寝床のように奥に細長くて使いにくく、脇には隣家が迫り、道路からもまる見え。そんなお庭に悩んでいたS様ご夫妻。「インターネットで癒樹工房さんの施工例を見て、ここならと思い相談したんです。限られたスペースだけど、花壇や菜園のあるお庭にしたい。視線を気にせず暮らしたい、と」ご希望はみごとに叶いました。敷地の手前にはお隣との境界ぎりぎ

りまでハビーナを設置。ハビーナが目隠しになって落ち着いた庭空間が誕生しました。「おかげで、ずっと閉めきっていたリビングのカーテンも、今は開けつばなしです」と奥様。ガーデンルーム選びには他社の製品も検討しましたが、敷地をムダなく使えたのはサイズバリエーションの多いハビーナだけ。窓にガラスも選べることや白色のフレームも気に入って採用を決めたそうです。



埼玉県三郷市・S様邸

細長いデッドスペースを有効に使いきって 楽しい花壇の庭に大変身！

お隣が迫る細長い庭をリフォームしたS様邸。ガーデンルームが外の視線をさえぎってくれるので、安心してくつろげるプライベート空間に。段々畑のような花壇は作業しやすく、今は樹木を植えたり菜園づくりに夢中です。

幅2.5mの細長い敷地がガーデンルーム＋花壇の庭に。盛り土で奥の床を高くして、奥行き感と広がり演出。

敷地境界ぎりぎりまでハビーナを設置。限られたスペースをムダなく活用できました。



休日は仲よくお庭仕事。「楽しくて時間を忘れます。花壇の床が高いので作業がラクなんです」



透明な屋根が青空を映し、開放感たっぷりのガーデンルーム・ハビーナ。奥の庭から室内までひと続きになったスペースを、愛犬がのびのびと走りまわって。



窓を全部閉めれば、お部屋感覚の独立した空間に。冬はサンルームのように暖かく、観葉植物を育てるのにぴったりだとカ。



すっきりしたFIX窓にカフェカーテンをしておしゃれに演出。ハビーナの多彩な窓の組み合わせで表情に変化を。



フラットな網戸もお二人のお気に入り。薄手のメッシュ生地で視界を妨げず、使わないときは収納できるので場所もとりません。



道路側の折りたたみ戸を開めれば、愛犬が道に飛び出す心配もなし。半透明ガラスにしたので視線を通さず、安心してくつろげます。



レンガを積み上げた花壇。段々畑のように奥へと高くなっていて、奥まで日が当たります。右は去年の秋の様子。少しずつ苗を植え、今では緑でいっぱい。



強い日差しには日除けが大活躍。折りたたみ戸を全開すれば気持ちのいい風が流れます。

小物をディスプレイできるおしゃれな窓辺にたくて、腰パネルの内側に薄い棚+腰壁を設置。



「リビングの前にもうひと部屋増えたい」。閉めきっていたカーテンも開けっばなしに。

お庭がより身近になって
緑を育てる楽しさにハマる
ハビーナの住み心地はいかがですか？「折りたたみ戸を開ければ開放的なテラスに、閉めれば独立したお部屋のようになるので、いろんな使い方が楽しめますね。道路側の窓だけ閉めておけば、愛犬たちも道に飛び出す心配がないし、プライベートなお庭になりますから、安心してのんびりと過ごせます」

朝になると、愛犬たちが
ガーデンルームを開けて開けて…って。
やっぱり気持ちいいんですね

庭奥に盛り土をして奥行きと広がり 小径の曲線を床のモチーフに

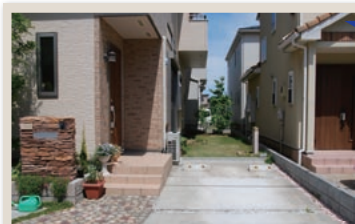
庭の奥は日当たりが悪くジメジメしたデッドスペース。そこで盛り土をして階段状に床レベルを上げ、日照を確保するとともに、遠近感を出して奥行きと広がりを演出。舗装材で小径をつくり、土で足元を汚さずにガーデニングが楽しめるようにしました。曲がりくねった小径のモチーフを、ハビーナの床にもタイルで描き、空間につながりを持たせています。

ハビーナ/CM+WH色

設計者
徳樹工房
ガーデンコンサルタント
杉崎 学様



設計の
POINT



Before



庭の奥は、古城のようなレンガ造りの花壇とかわいい小径を設置。床が階段状に高くなっていくので、遠近感が出てより広々と感じられます。お庭が新しくなって、すっかりガーデニングの面白さにハマったというお二人。「ここは何を植えようとか、ハーブもいいよねとか相談しながら植えています。植物を育てるのが楽しいし、緑の中にいると癒されてリフレッシュできますね」





両サイドの折りたたみ戸を全開にして、開放感たっぷりのガーデンルーム・ハビナ。駐車場からゆるやかなスロープを上がり、車椅子で直接ここに入れます。ご主人が通勤に使う自転車も素敵なアクセントに。



白+こげ茶の建物に、ダークな木調のハビナが美しく調和。カーポートはUスタイルⅡを採用。梁を延長して、スロープの上まで屋根でおおいました。

岡山県岡山市・Y様邸

屋根付スロープ、段差のない床 車椅子でも快適な 心やさしい家族のお庭

美しいガーデンルームが完成したY様邸。でも、その魅力は「見ため」だけではありません。車椅子のご家族のスムーズな行き来を考えてスロープや段差のない床を要所に設置。愛情と配慮にみちた暖かいプランなのです。

暮らしながら車椅子の動線を考え、最適なプランを

まずは建物を完成させ、住みながら外まわりを詰めていったY様邸。「子どもが車椅子を使う生活なので、どこから出入りしてどう移動するのがいいか、暮らしてみても動線を考えたんです」とご主人。

施工業者に何社か相談した中で、一番きめ細かい提案をしてくれたバストホームの光亦様に設計を依頼。車から降りて車椅子で家に入るために、当初は玄関にスロープをつくる予定でしたが、「リビングの掃き出

し窓から出入りするほうが便利では…」ということになって。リビングの庭先にガーデンルームとスロープを設け、そこを出入り口にするというプランに決めました」

とくにスロープの使い勝手が重要です。車から降りた場所から上りやすいように、広さや位置を綿密に計算して設置。カーポートの屋根をスロープまでのばし、雨の日でも濡れないように工夫。そしてスロープから続くガーデンルームの入口は、広く全開できる折りたたみ戸に。床の段差も最小限にしてスムーズに出入りできるよう配慮。こうして人によさしいお庭が完成しました。



車を降りてからスロープを上り、ガーデンルームへ。カーポートの梁を建物までのばし、屋根を設けたので、雨でも濡れずに出入りできます。

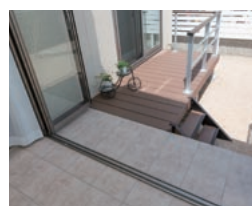




青空や風のすがすがしさをここで満喫。重厚な木調と白のインテリアとの対比も美しい。デッキは人工木デッキ「ひとと木」を採用。



ハッピーナの奥からつながる隣室のデッキ。デッキのまわりは野菜のプランターを置き、お子さんと水やりや収穫を楽しむ家庭菜園に。



ハッピーナの床からデッキまではほとんど段差なくつながって、車椅子でスムーズに行き来ができます。

Before



ガーデンルームは他社製品も見ましたが、出幅9尺という大きなサイズがあったハッピーナを選択。落ち着いた雰囲気、腰パネルを採用し、家具を置き、リビングの延長として使っています。「お部屋がもうひとつで、たみたい、家が広く感じられるようになりまし」と奥様。

また、ハッピーナから隣室へ床伝いにデッキをつなげ、こも段差をなくしたので、車椅子で室内とガーデンルーム、デッキと室内と回遊するこ

とも可能です。デッキまわりには野菜のプランターを置き、親子で水やりや収穫を体験したいとのこと。門にもスロープを設けたので、門から直接庭に入ることもできます。



「外出する機会が少ないので、家の中に楽しい場所、気持ちのいい場所がつくれてよかった。ここでアウトドアの心地よさを子どもと一緒に楽しんでいきたいですね」



家具やカーテンもしつらえもうひとつのリビングに

ここで青空や風、緑にふれて、外の気持ちよさや季節の移ろいを家族で楽しみたいですね



リビングの先の素敵な空間。室内とつながり、リビングもより広く感じます。腰パネルが道路からの視線をカット。

カーテンを降ろすと、まるで室内のような落ち着いた空間に。日除けもカーテンも白で統一した洗練のインテリア。



使い勝手を考えてスロープを調整 庭は格子や生垣で軽快に囲って開放感を

駐車場脇のスロープは、車を駐めるスペースも、スロープの幅も、どちらもできるだけ広く取りたくて何度も調整。車の出し入れもやすく、スロープも広くて使いやすいと喜んでいただきました。庭を高いフェンスで囲うと開放感が失われてしまうので、ハッピーナの窓を腰高にして外からの視線を抑え、道路ぎわは汎用部材や生垣でゆるやかに囲いました。

ハッピーナ/TP+UC色

設計者
株式会社ベストホーム
光亦早苗様



設計の
POINT



静岡県静岡市・I様邸

家族で遊んで、食事して お部屋感覚のガーデンリビング

お隣との境界をM.グロリアアで目隠しして、
落ち着ける庭にリフォームしたI様邸。
お子さんの遊び場も増え、だんらんが広がりました。



庭の奥にテーブルを置いて
だんらんの場に。M.グロリア
アでぐるりと囲ったので隣家の
視線も気になりません。



ディテールにもこだわる奥様
は、木の飾り棚を活用。床も天
然石の乱張りなどを組み合わ
せてかわいく演出、すみずみ
まで素敵な空間に。

日曜の朝ごはんはお庭で、
って決めています。パパが焼いた
ホットケーキは絶品なんです

M.グロリアアの採光パネルで
光は通して視線はカット

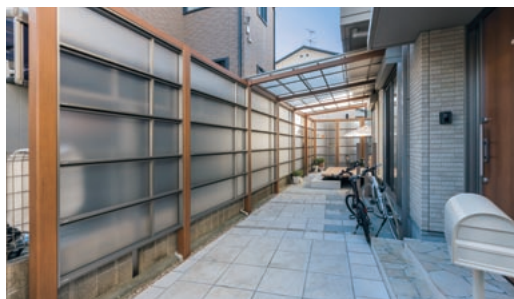


新築時のウッドデッキ+樹木の庭
がありきたりで、「もっとかわいいお
庭にしたい」と考えていたI様邸。お
しゃれなプランで評判のオレンジハ
ウス様にリフォームをお願いして、お
部屋の続きのような素敵なガーデ
ンリビングが完成しました。

隣家との境界をぐるりと囲んで
いるのはM.グロリアア。半透明のパ
ネルが光をたっぷりと取り込んで、
プライバシーを守りながらも明るく
て開放感のある空間に。ナチュラル
な木調柱が、ほっとくつるげる落ち
着きをもたらしています。

「おかげで外からの視線が気になら
なくなつて、ストレスがなくなりました。
リビングの窓も開けっ放し。子ど
もたちは思いっきり遊びすぎて、プ
ールが壊れちゃったほど（笑）。休日は
ずっとお庭で過ごすのが、わが家の
スタイルになりました」

室内～デッキ～庭がひと続きに。
屋根もつけたので雨でも遊べるし、
隣家2階からの視線もさげられ、
リビングでもお庭でもくつろげます。



隣家から奥の家までM.グロリアアでさりげ
なく目隠し。木調色がやさしいアクセント
に。手前はアプローチ兼カースペース。



屋下がりはお夫婦でお茶を楽しんで。もともとあったデッキにステップを
つけたので、お子さんが安全に上がり下りできます。



「休日はお庭で朝食」がI様邸の新しい習慣に。お子
さんたちものびのびと遊べて大満足。家族でお庭に出
る時間がぐんと増えたそうです。

M.グロリアならコーナーがすっきり 床を工夫して遊び心や奥行き感を

目隠しスクリーンは他社商品も検討しましたが、コーナーの柱が1本
ですっきりしていて角度調節も自在なM.グロリアを採用。床は
「ローメンテナンスに」とのご要望でコンクリートを敷き、天然石をあし
らって可愛らしさをプラス。アプローチはタイルを斜めに敷いて奥行き
感を出し、庭奥をより遠くに見せるよう演出しました。



設計者
株式会社オレンジハウス
新築事業部 武田明子様

M.グロリア/CM色

設計の
POINT